

第3回あかしあ台リング道路街路樹のあり方検討会 報告

あかしあ台リング道路街路樹のあり方検討会

日時：2019.12.22.（日）10:00～12:00

於：あかしあ台コミュニティハウス集会室

辻コーディネーター 赤澤先生（人と自然の博物館）委員出席 19 名 傍聴 3 名

三田市：道路河川課（課長以下 3 名）公園みどり課（課長 1 名）

ひと・杜・暮らし あまがえる（植栽業）木下ご夫妻

第1回検討会では、辻コーディネーターからこれまでの経過説明と論点の整理に引き続き、赤澤先生から「今までの街路樹 これからの街路樹」のテーマで街路樹のあり方の基礎知識を学びました。第2回目は、さらに議論を進めるために、赤澤先生から「街路樹と生物多様性」のテーマで講義していただきました。第3回検討会では、赤澤先生から「街路樹環境の見方」の講義を受けた後、参加者全員でリング道路現地見学会を行ないました。40分ほどの現地見学の後、コミュニティハウスに戻り1時間強の意見交換会および今後の方針についての検討を行ないました。コーディネーターの辻先生、人と自然の博物館の赤澤先生、三田市で植栽業を営む「ひと・杜・暮らし あまがえる」の木下ご夫妻、三田市からは、道路河川課から片山課長以下2名、公園みどり課から島田課長にご出席いただきました。委員の出席は21名中19名、傍聴には3名の方のご参加をいただき、合計30名の参加となりました。

配布資料

「第2回リング道路街路樹のあり方検討会報告」「リング道路歩道・車道幅員図」

「リング道路歩道 整備区分図」「リング道路歩道 根上りの現状図」

1. 現地視察前に共有する情報（赤澤先生からの講義）

現地街路樹環境観察の視点

- ・歩道の広さ→植栽帯幅（1.5mの所と3mの所、内側歩道中央植栽帯は1m）の関係
- ・舗装のタイプ（アスファルト・ブロック・土）→土中の水分量に関係
- ・街路樹にとって陽当りは→方角・住宅建物の影・街路樹同士の影
- ・植樹帯に何が植わっているか（高木・低木、ニセアカシア・シラカシ・サルスベリ・エンジュ・シャリンバイ等）
- ・周りの環境→公園の大木が隣接だと陽当り↓水分↑
- ・根上りとまわりの環境（アスファルト・ブロック・土）
- ・傾斜地→乾燥に関係
- ・安全環境→見通しが悪くないか照明や信号を遮っていないか
- ・剪定がどのように行なわれているか（ニセアカシア・サルスベリ 3年に1回、低木1年に1回）
- ・樹間の広さ、伐採したところ、してないところ（8mが基準）
- ・萌芽更新（ひこばえ）試験中のニセアカシアの状態（胸の高さで伐採・根元で伐採）

第4回リング道路街路樹のあり方検討会

日時：2020年2月9日（日）10:00～12:00

第5回リング道路街路樹のあり方検討会

日時：2020年3月22日（日）10:00～12:00

場所：あかしあ台コミュニティハウス集会室

傍聴可能です。多くの方々のご参加をお待ちしています。

- ・歩道アスファルトの修理状況（全面補修・部分補修・応急補修・遮根板挿入）

2. 現地見学会（見学順に①～⑱の説明・指摘を記載しました）

コミュニティハウスから外側歩道を北に向け3丁目のグリーンスクエアまで。折り返して内側歩道を南に向けてはじかみ池公園南側まで、さらに、折り返し外側歩道をコミュニティハウスまで歩きました。その間の説明事項・指摘事項は以下の通りです。

- ① 旧小西屋駐車場北側植樹帯にニセアカシアのひこばえが生育している（とげがある ニセアカシアにはとげありととげなしがあり、あかしあ台のはトゲナシニセアカシア）（1丁目外側歩道）
- ② 樹木の成長により、倒木防止支柱が幹に食い込んでいる。メンテ不十分。食い込んだ部分から折れる。（1丁目外側歩道、他にも多数存在）
- ③ あかしあ台にはニセアカシアと近似種のエンジュも片側歩道の街路樹として植えられている。しかし、どの木も樹勢が今ひとつである。（1・5丁目片側歩道部分）



根茎萌芽後約2年経過したニセアカシア

- ④ No.805 のニセアカシアが大きさや樹形のモデルになる（あまがえる木下氏）。これ以上大きくなると人力で管理や伐採することができなくなる。貧弱に感じる。（2丁目外側歩道）
- ⑤ ルールに従って剪定すれば樹形は整う（剪定技術が未熟な樹木多数あり）
- ⑥ ニセアカシアのひこばえ（根茎から成長したもの、種から成長したもの）の中に一本立ちして、適度な剪定を行えば街路樹として立派に成長できそうな木もある。（3・4丁目外内歩道）



No.805 のニセアカシア
あかしあ台1丁目交差点北

- ⑦ 個人宅の庭の木も30年間にわたり大きく成長し、高齢化にともない手に負えなくなり伐採したり管理が滞るケースが増えている。
- ⑧ 2丁目ラグビー場外側歩道斜面のニセアカシアのひこばえの繁殖力は極めて大である。除草作業の際に毎年切られている。（2丁目外側歩道）
- ⑨ 3丁目グリーンスクエア隣接歩道のニセアカシア植栽帯は3mもあり、根上りは見られない。（3丁目内側歩道）
- ⑩ 3丁目内側歩道中央植樹帯に常緑樹のシラカシが植えられている。植樹間隔がせまく街路灯の光が周辺に届かない。（3・1丁目内側歩道）
- ⑪ 1丁目ニセアカシアを植えた時期と2・3丁目ニセアカシアを植えた時期は1年ほどの差がある。樹種も微妙に異なるのか、樹齢も異なるのか、1丁目のニセアカシアは巨木化し老木化が進んでいる。2・3丁目は1丁目ほど老木化は進んでいない。
- ⑫ 3・1丁目の中央植樹帯アスファルト舗装側に舗装をカットして遮根板を入れた痕跡がみられる。（3・1丁目内側歩道）
- ⑬ あかしあ台小学校前交差点・あかしあ台1丁目交差点は、車の飛び込みの危険性があり、ガードをつける必要がある。
- ⑭ あかしあ台1丁目交差点の南北内側歩道部分の植樹帯は3mあり根上りはおこって

いない。(1・2丁目内側歩道)

- ⑮ 伐採した切り株にベッコウタケやコフキタケが着いているものがある。そこから萌芽更新するひこばえは成長させて大丈夫か。(3・1丁目)

- ⑯ シラカシの樹木にびっしりとウメノキゴケがついているが樹勢が弱っているのか。(1丁目内側歩道)

- ⑰ はじかみ池公園南内側歩道の土舗装部分は根上りが起こっていない。

- ⑱ 1丁目ボンエルフのケヤキは大きく成長し落葉の清掃が問題になっている。

- ⑲ 外側歩道に植えられているサルスベリの樹皮に近い導水帯にリング状のカミキリムシによる食害が多数発生している。(1丁目外側歩道)

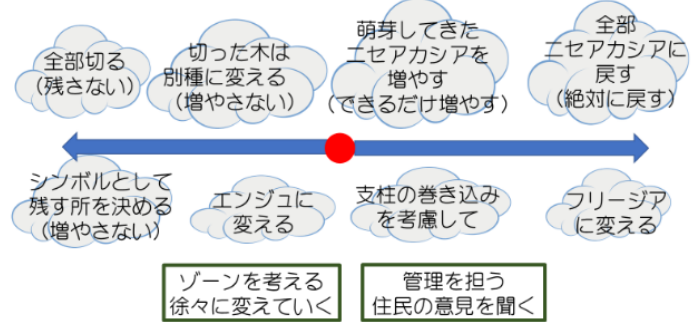
3. 現地見学後の意見交換のまとめ

- ① **歩道の安全確保のため根上り解消は必須条件**：植栽帯 3m が確保された所と歩道部分が土舗装の所では根上りが発生していない。ニセアカシアを維持しようとするれば、植栽帯の拡張も必用となる。また、高齢者の増加に伴い電動自転車やシニアカーの利用者は増え、歩道の通行量は増え、歩道の拡張も必用である。
- ② **侵略的外来種に指定されたニセアカシアを今後維持できるか**：あかしあ台のシンボルとしてニセアカシアは住民にとって無くてはならないものである。また、全国的には、札幌市や秋田県の小坂町ではニセアカシアをシンボルツリーとして観光資源にしているところもある。ニセアカシアの欠点を克服してあかしあ台にシンボルツリーとして何とか残せないか。
- ③ **樹種転換が必用ならエンジュを候補としてあげたい**：エンジュはニセアカシアと同種の日本種の豆科植物で上品で初夏に地味ではあるが黄色い房状の花も咲く。また、ニセアカシアをシンボリックに残すなら、ニセアカシアと同種であるがフリーシア（黄金色の葉が特徴）を採用して欲しい。
- ④ **県民緑化事業の補助金を使って街路樹再生を行えないか**：県民緑化事業は、県民緑税 800 円/個人を徴収して財源に充てている。あかしあ台でも活用してきたが、間もなくこの事業自体が無くなる予定である。
- ⑤ **里山の管理手法の萌芽更新でニセアカシアを再生維持**：巨木化させないで 20 年程度で伐採し再度萌芽更新で再生することを考えてはどうか。No.805 のニセアカシアがその限度モデルである。根上りの問題をどのように解消するかが課題である
- ⑥ **樹間を何メートルにするか**：緑の見え方、緑量というとらえ方をすると、樹冠の大きさとの関係で考える必要がある。樹冠が大きく育つ樹木は広い樹間をとれる。
- ⑦ **街路樹植栽後の落葉対策・樹木管理は行政にまかせるでは解決できない**：メンテナンスは行政・市民の協働でシステム化する。市民の参加が必須条件である。可能か？
- ⑧ **リング道路の街路樹と歩道の状態は場所によって異なっている**：リング道路をゾーンに分けて対応を考えてみる必要がある。次ページ地図は、「リング道路街路樹と歩道の関係および根上りの現状」として、植樹帯の幅・歩道の舗装状態・ニセアカシアの樹齢・植栽帯の列数（3 列・2 列・1 列）・根上りの発生状況等により A～E にゾーン分けした図版である。検討の経過の中で、リング道路周辺の環境・社会状況等も考慮に入れ、広く住民の意見を取り入れ今後の方針を検討する必要がある。

4. 赤澤先生のまとめ・今後への提案

大きな方針として、ひとまずニセアカシアを残すか残さないかで考える。多くの住民の意見を聞き、取り入れながら右図の赤丸がどこに落ち着くかを慎重に模索する必要がある。行政の立場として可能なところはどこかも考える必要がある。

リング道路のあり方検討会第3回検討会のまとめ（赤澤先生）



あかしあ台リング道路街路樹と歩道関係および根上りの現状 2020.1.20.

